

七尾城山みち No. 2

2006. 4. 10

「七尾城山を愛する会」ガイド

こんなにひどいとは・・・！

早春の山道には紫色のショウジョウバカマの花が綺麗です。せせらぎには白いミヤマカタバミの花が咲き、ほんのりと紫かったイチリンソウの白い花も顔を見せています。杉林にはエンレイソも咲き、谷奥には土まみれの雪もありますが山はもう春です。

今年の雪は山道や谷の景観を大きく変えました。谷筋では木々が倒れて道を塞ぎ、大きな杉や広葉樹、竹も雪崩れとともに根こそぎ崩れ落ち歩きにくい山道です。不動滝周辺も山のゴミ捨て場状態で景観どころではありません。落胆の山歩きでした。

本丸駐車場で若い孫を連れた夫婦に出会いました。大きな折れた桜の枝が切られてした。駐車場脇には数個のイチリンソウの花が曇り空に下に垂れていました。少なくなったように思いました。また、それにしても本丸駐車場付近にはゴミが多い。旧道もきれいに片付けられていました。



キクザキイチリンソウ

うぐいすは『ホー、ケキョッ』

鶯のさえずりも少しずつ長くは伸ばせるようになってきました。せせらぎにコゴミが少し伸ばして巻いていました。フキノトウと一緒に摘んで春の味を堪能しました。

黒崎の方と懇話会を

4月2日に黒崎集会所で「七尾城山を愛する会」と「代官道路と地域を愛する会」との懇話会がありました。城山へと続く代官道の詳細を求めておられました。代官道と呼ぶのは黒崎だけで他は殿様道と呼んでいるとのことでしたが聞けば聞くほど富山方面から辿る山道は確かにあり、歴史の山道を探ることへのロマンは重なりました。山に入ることが少なくなり山道を知る者も少なくなりつつある今こそ、そこに生きてきた人々の営みを後世に伝える過渡期なのではと感じました。そして、あらためて自分達の「今、していること」をきちんと残さなければと思いました。今後も交流を深めながら互いの目的に向かって進みたいと思いました。帰りは雪の残った山をゆっくり越えてみました。

『旧道 大門道』の標柱を設置

4月9日（日）、「戦没船員の碑」の上方に大門道の標柱を立てました。寒い日でしたが50mほどの草刈もほどなく終わり準備してきた標柱を無事設置することができました。この道の歴史を後世にも伝えたいと思います。その後場所を下に移し地図にも残る大門道の除草をしました。

11時には今日の作業を無事終えることができました。参加者の中から大門道を歩きたいとの声も聞かれまたの日を楽しみにしています。

